

平成21年度事務事業評価一覧表（20年度実施事業分）

部局名：警察本部

事務事業名	最終予算額 （千円）	決算額 （千円）	事 業 の 概 要		事業の成果と課題	事 業 の 評 価			
	実施方法		事業の目的	事業内容		ニーズの変化	県の関与を見直す余地	有効性を高める余地	効率性を高める余地
	実施根拠								
公安委員会運営費	10,228	9,044	・公安委員会による警察の民主的運営と政治的中立性の確保を目的とする。	・警察行政を行うための一般管理諸経費	・定例会の開催、視察の実施等を計画どおりに実行した。引き続き公安委員会の管理機能の充実及び活性化を図る。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
総務課	警察法					減少	余地あり	余地あり	余地あり
猟銃等講習関係事業	2,086	1,804	・猟銃及び空気銃（以下「猟銃等」という。）の所持許可を受けようとする者又は現に猟銃等を所持している者に対して、猟銃等の所持に関する法令及び猟銃等の使用、保管等の取扱いに関する知識を習得させ、猟銃等に係る事件事故等の発生を防止する。	・猟銃等の所持許可を受けようとする者に対する講習会（初心者講習会）6回 ・現に猟銃等を所持する者に対する講習会（経験者講習会）32回	・計画的な講習の実施した結果、平成20年中、猟銃を使用した犯罪及び猟銃等の盗難・亡失事案の発生もなく、講習の成果があった。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
生活安全企画課	銃砲刀剣類所持等取締法					減少	余地あり	余地あり	余地あり
警備業講習関係事業	8,589	7,583	・県民の安全・安心な生活を守る業務の一役を担う警備業務の実施の適正を図るため、専門的知識・能力を有する警備員を育成し、適正な警備業務と警備業務の委託者の保護を図る。	・指導教育責任者特例措置講習12回 ・指導教育責任者新規資格取得講習4回 ・機械警備管理者講習1回 ・警備業者が選任する指導教育責任者に対する講習3回	・計画的な講習の実施により、県民のニーズに応じた講習受講がなされた。 ・各種講習の実施により、県民の信頼に応えるための、警備業務の適正化が図られた。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	委託・直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
生活安全企画課	警備業法					減少	余地あり	余地あり	余地あり
風俗環境浄化対策委託事業	6,106	6,090	・県風俗環境浄化協会の指定を行い、善良な風俗及び風俗環境の浄化並びに少年の健全な育成を図る。	・風俗環境に関する苦情の処理 ・法律に違反する行為防止のための啓発活動 ・少年指導委員の活動の補助 ・善良の風俗の保持及び風俗環境の浄化並びに少年の健全な育成に資するための自主的な組織活動の補助 ・法第9条1項の承認及び10条の2第1項の申請に係る各種基準の調査	・各種環境浄化のための啓発活動の実施及び計画的な講習の実施の結果、善良の風俗及び風俗環境の醸成が図られた。また、少年の健全育成活動の活発化が図られた。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	委託					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
生活安全企画課	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律					減少	余地あり	余地あり	余地あり
警察一般管理経費	465,379	457,432	・県民に対する円滑な警察行政事務を行う。	・警察署協議会の運営 ・非常勤職員の配置 ・職員の赴任旅費・会議等連絡旅費 ・事務消耗品等の購入 ・事務用郵便料等	・適正な予算執行により、効率的かつ効果的な行政事務を推進した。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
会計課	警察法					減少	余地あり	余地あり	余地あり

事務事業名	最終予算額 （千円）	決算額 （千円）	事 業 の 概 要		事業の成果と課題	事 業 の 評 価			
	実施方法		事業の目的	事業内容		ニーズの変化	県の関与を 見直す余地	有効性を 高める余地	効率性を 高める余地
担当課（室）	実施根拠								
庁舎等維持管理経費	545,435	528,635	・警察活動の拠点となる警察署、交番等警察施設を適正に維持管理し、県民サービスの向上を図る。	・庁用燃料の購入 ・電気、ガス、水道料 ・施設機械設備等の保守点検 ・庁舎清掃の委託 ・交番・駐在所用土地借料 ・下水道受益者負担金等	・経費の節減を図りながら適正に維持管理を行った。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
会計課	地方自治法					減少	余地あり	余地あり	余地あり
健康管理増進事業	41,406	37,413	・職員の健康状況を把握し、健康障害を早期の発見して適切な処置を講ずるとともに、健康管理対策を推進し、活力ある強靱な組織を構築する。	・全職員に対する定期健康診断、又は人間ドックの実施 ・有害業務に従事する職員に対する特別健康診断及び疾病予防事業 ・産業医の健康教育、健康相談による過重労働対策及びメンタルヘルス対策 ・快適な環境づくり（当直用寝具リース及び乾燥消毒）	・全職員に対する健康診断、人間ドック等の実施により、疾病の早期発見・早期治療に直結した成果が得られた。 ・近年、精神疾患が増加していることから、メンタルヘルス対策及び過重労働対策の推進が必要である。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
厚生課	労働安全衛生法他					減少	余地あり	余地あり	余地あり
警察広報充実事業	1,679	1,496	・警察の姿を正確かつ積極的に広報するとともに、情報公開を適切に推進することにより、警察行政の透明性を確保し、警察に対する県民の信頼と理解を深める。	・警察音楽隊活動の推進 警察が主催、共催、協賛する行事への出動演奏、コンサートの開催 ・インターネット、ホームページの運用 ・事件・事故発生情報などの地域安全情報の提供 ・情報公開の推進	・演奏を通じて県民に対し、警察活動への理解と協力を直接働きかける音楽隊の演奏活動を年間76回実施した。更に演奏回数を増やすなど、より広範囲に効果のある広報活動を展開する。 ・ホームページの内容の充実により、アクセス件数が増加し、県民に対し期待した効果が得られている。今後も、より県民に分かりやすく役に立つ情報を発信する。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
広報課	長野県情報公開条例					減少	余地あり	余地あり	余地あり
高度情報化推進事業	302,553	270,938	・ＩＴ技術を積極的に活用することにより警察活動及び警察業務の効率化・高度化を図り、県民の安全な暮らしの確保を図る。	・端末機等情報システム及びネットワークに必要な通信機器等の基盤整備	・高速通信回線網の運用、端末整備等により警察情報基盤の整備を推進し、各種警察活動及び警察事務、住民サービスの向上に寄与した。 ・情報セキュリティ対策の更なる向上に向けた整備が課題となっている。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
情報管理課	警察法					減少	余地あり	余地あり	余地あり
警察官等被服経費	307,797	307,750	・街頭活動などの確な職務執行に資するため、制服等、警察職員に対する貸与品を整備する。	・男性、女性警察官用の制服の整備 ・運転免許試験官、航空隊員等の特殊服の整備 ・警棒、手錠等貸与品の整備	・制服警察官による街頭活動をはじめ、警察職員による的確な職務執行に資するため、法令に基づく最低限必要な貸与品の整備を図った。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
警務課	警察法 警察官等の被服の支給及び 装備品貸与に関する条例					減少	余地あり	余地あり	余地あり

事務事業名	最終予算額 （千円）	決算額 （千円）	事 業 の 概 要		事業の成果と課題	事 業 の 評 価			
	実施方法		事業の目的	事業内容		ニーズの変化	県の関与を 見直す余地	有効性を 高める余地	効率性を 高める余地
担当課（室）	実施根拠								
警察装備品管理経費	411,196	399,026	・事件、事故に対する迅速かつ的確な対応により県民の生命、身体、財産を守るため、警察車両等を維持管理し、捜査資機材、受傷事故防止装備品等の整備を推進する。	・警察車両の維持管理（燃料費、修繕費、自賠責保険料、自動車重量税等） ・事件捜査等の受傷事故防止用装備資機材の整備（ヘルメット、夜光チョッキ、停止灯等）	・警察車両等の維持管理や、街頭指導等において必要な受傷事故防止資機材の整備等、各種警察事象に即応するための整備を計画的に行った。 ・引き続き、多様化する事件等に対する的確な対応を図るために必要な装備資機材等の整備を図る。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
	警務課	警察法				減少	余地あり	余地あり	余地あり
航空機運用経費	155,079	153,854	・災害警備、山岳遭難救助、犯罪捜査、交通情報収集等警察目的を達成するため、警察ヘリコプターの効果的な運用を図る。	・警察ヘリコプターの維持管理（燃料費、部品代、点検整備費、機体修繕料等） ・航空機の安全運航体制確保（航空保険料、航空身体検査料、気象情報使用料、各種講習負担金等） ・ヘリコプターテレビシステムの維持管理（保守点検料）	・山岳遭難救助をはじめ、犯罪捜査活動や警衛警備活動など航空機の機動力を生かし、広域にわたる警察活動に的確に対応した。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
	地域課	国家公安委員会規則「警察用航空機の運用等に関する規則」				減少	余地あり	余地あり	余地あり
諏訪警察署建設事業	513,210	513,210	・耐震性が極めて低い庁舎の建て替えを行い、警察活動及び防災活動の拠点施設としての機能を確保するとともに、訪れる市民や勤務員の安全を確保する。	・庁舎の移転新築	・警察活動及び防災活動の拠点施設としての機能を確保するため、平成21年12月開署に向けて引き続き事業を進捗する。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
	会計課					減少	余地あり	余地あり	余地あり
警察施設整備事業	184,825	183,421	・警察活動の拠点となる警察署、交番等警察施設及び職員宿舍の修繕、改修等の営繕を行うことにより、施設の機能を維持し、良好な執務環境等の整備をするとともに、県民サービスの向上を図る。	・漏水等破損個所の緊急修繕 ・老朽、劣化等により機能低下の著しい箇所計画的な修繕 ・公共下水道等の接続工事 ・住宅用火災報知器の設置	・警察施設の営繕を適正に行い、その機能維持に努めた。 ・未だ老朽施設が多数ある現状から、今後、これらを維持するための営繕費用が多額となることが課題となっている。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
	会計課					減少	余地あり	余地あり	余地あり
警察職員住宅等建設事業	611,056	611,049	・迅速かつ集団的な警察活動力を確保するため、管内居住を原則とする警察職員の職員住宅を建設する。	・共済組合及び住宅供給公社の資金活用による職員住宅の建設（20年度は新規建設なく、償還のみ）	・契約に基づき、資金の償還を行った。 ・今後、財政状況を踏まえ、老朽化が著しい職員宿舍の建替えを計画的に推進する。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
	会計課					減少	余地あり	余地あり	余地あり

事務事業名	最終予算額 （千円）	決算額 （千円）	事 業 の 概 要		事業の成果と課題	事 業 の 評 価			
	実施方法		事業の目的	事業内容		ニーズの変化	県の関与を見直す余地	有効性を高める余地	効率性を高める余地
担当課（室）	実施根拠								
長野中央警察署大規模改修事業	358,719	273,470	・耐震性が低い庁舎の耐震改修を行い、警察活動及び防災活動の拠点施設としての機能を確保するとともに、老朽化した設備の改修を行うことにより、建物の長寿命化とランニングコストの縮減を図る。	・庁舎の耐震改修 ・老朽設備の改修	・警察活動及び防災活動の拠点施設としての機能を確保するため、平成22年3月完了に向けて事業を進捗する。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
						減少	余地あり	余地あり	余地あり
会計課									
運転免許センター維持管理経費	52,254	40,432	・運転免許センターの施設を適正に維持管理し、運転免許更新等に訪れる県民に対するサービスの向上を図る。	・庁用燃料の購入 ・電気、ガス、水道料 ・施設器械設備等の保守点検 ・庁舎清掃の委託 ・下水道使用料	・新たな施設建設や改修などが抑制されている現状の中で、経費の節減を図りながら適正に施設の維持管理を行った。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
						減少	余地あり	余地あり	余地あり
東北信運転免許センター	道路交通法 地方自治法								
運転免許事務経費	83,671	79,437	・道路交通法に基づく運転免許に関する事務を適正に行い、運転免許保有者等の利便向上を図るとともに、道路交通上の安全を図る。	・運転免許事務を補助する賃金職員の経費 ・運転免許事務に係る旅費 ・運転免許証更新通知、高齢者講習通知等の事務委託 ・ビデオプロジェクター等備品の購入	・運転免許関係事務について、限られた職員の中で、迅速・正確な処理を推進した。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
						減少	余地あり	余地あり	余地あり
東北信運転免許センター	道路交通法								
運転免許試験経費	62,068	51,980	・道路交通法に基づく運転免許試験に関する事務を適正に行い、交通に関する必要な知識・技能の一定水準を確保することにより、交通事故の防止を図る。	・運転免許学科試験問題の作成 ・仮免許試験等の事務委託 ・技能試験用車両のリース等	・運転免許試験制度の厳格な運用により、交通安全に寄与した。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
						減少	余地あり	余地あり	余地あり
東北信運転免許センター	道路交通法								
交通関係講習経費	503,293	493,657	・道路交通法に基づく各種講習を実施し、優良な運転者の醸成と安全意識の高揚を図るとともに、道路における危険を防止して交通の安全と円滑に資する。	・各種講習の事務委託 ・安全運転管理者に対する講習 ・指定自動車教習所の職員に対する講習 ・運転免許更新の申請者に対する講習	・運転免許証更新時講習をはじめとした各種講習を適正に実施し、運転者の安全意識の高揚に努め、交通事故の減少に寄与した。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
						減少	余地あり	余地あり	余地あり
東北信運転免許センター	道路交通法								

事務事業名	最終予算額 （千円）	決算額 （千円）	事 業 の 概 要		事業の成果と課題	事 業 の 評 価			
	実施方法		事業の目的	事業内容		ニーズの変化	県の関与を見直す余地	有効性を高める余地	効率性を高める余地
担当課（室）	実施根拠								
運転免許事務電算経費	260,673	236,520	・ 道路交通法に基づき、運転免許に関する各種データを電算処理している運転者管理システムを有効に活用することにより、運転免許事務の迅速化・効率化を図る。	・ 汎用電子計算機の維持管理 ・ 免許関係オンライン端末機の維持管理 ・ 運転免許ファイリングシステムの維持管理（消耗品の購入、機器のリース等）	・ 運転免許関係電算機等を適正に維持管理し、効率的な事務処理を推進した。 ・ 運転免許証の偽・変造防止等を図るためのＩＣカード化運転免許証の作成・交付事務を適正に実施した。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
東北信運転免許センター	道路交通法					減少	余地あり	余地あり	余地あり
警察一般活動経費	404,671	395,761	・ 県民の安全な暮らしを守るため、多様化する警察事象に的確に対応する警察活動を行う。	・ 捜査、交通違反取締等の活動旅費 ・ 留置場の管理運営費 ・ 警察電話料	・ 適正な予算執行により、効率的かつ効果的な警察活動を推進した。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
会計課	警察法					減少	余地あり	余地あり	余地あり
山岳遭難救助活動経費	9,281	8,716	・ 山岳遭難救助隊の活動により、山岳遭難の未然防止を図るとともに、山岳遭難発生時において遭難者の捜索・救助活動を行うなど、登山者の安全確保を図る。	・ 山岳パトロール活動 ・ 山岳遭難救助活動 ・ 山岳遭難救助活動に必要な装備品の購入 ・ 長野県山岳遭難防止対策協会が行う救助訓練、装備品の購入にかかる経費の負担	・ 平成20年は、182件の山岳遭難に延べ1,128人の警察官と585人の山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動し、迅速な救助活動を行った。 ・ 今後も増加が予想される山岳遭難に対応するため、救助隊員の資質向上と装備品の充実を図る必要がある。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
地域課	警察法					減少	余地あり	余地あり	余地あり
地域警察強化総合プラン推進事業	236,372	226,153	・ 交番相談員の配置、警察パトロール（緊急通報装置）の設置等により、パトロール及び事件事故の対応等による警察官不在時の諸願届の受理、地理案内等の住民サービス業務の強化及び住民の意見・要望の把握に努め地域住民に身近な犯罪、事故の予防・検挙活動を強力に推進し「生活安全センター」としての交番の機能強化を図る。	・ 「生活安全センター」としての交番・駐在所の機能強化 ・ 交番相談員の配置（警察官不在時に交番を訪れた住民等の急訴や諸願届等への対応） ・ 交番・駐在所用緊急通報装置の設置 警察官不在時における急訴や諸願届等への対応	・ 「パトロールの強化」と「交番等における常時在所」については依然として県民からの要望が高いことから、多発する街頭犯罪等の発生を抑止しつつ、急訴等への的確な対応に備えるための事業を引き続き推進する必要がある。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
地域課	国家公安委員会規則「地域警察運営規則」					減少	余地あり	余地あり	余地あり
通信指令システム維持管理	199,919	192,836	・ 事件、事故に係る１１０番通報に迅速・的確に対応することにより、レスポンスタイムの短縮、犯罪の検挙率の向上、事件の早期検挙を図り、県民の安全と平穏を確保する。	・ 通信指令システム、警察署等指令ネットワークシステム機器、大型表示装置等、通信指令業務に必要な機器の維持管理	・ リスポンスタイムが平成19年と比較して7秒短縮された。 ・ 今後は、更なるレスポンスタイム短縮と早期検挙による検挙率の向上を目指し、カーロケータシステムの活用とともにシステムの効果を最大限に発揮するための運用を引き続き進める必要がある。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
通信指令課	警察法					減少	余地あり	余地あり	余地あり

事務事業名	最終予算額 （千円）	決算額 （千円）	事 業 の 概 要		事業の成果と課題	事 業 の 評 価			
	実施方法		事業の目的	事業内容		ニーズの変化	県の関与を見直す余地	有効性を高める余地	効率性を高める余地
担当課（室）	実施根拠								
犯罪捜査活動経費	38,548	25,824	・ 県民の安全な日常生活を脅かす犯罪の早期検挙・解決を図る。	・ 捜査用資機材の整備 ・ 監視器用資機材等の整備 ・ 適正な検視業務の推進	・ 装備資機材の整備による犯罪捜査の効率化を図り、適正捜査を推進した。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
刑事企画課	警察法					減少	余地あり	余地あり	余地あり
広域重要犯罪対策事業	80,076	74,709	・ 犯罪の凶悪化、広域化、組織化、スピード化等に的確に対応するため、捜査資機材を整備・活用し、事件の早期解決を図る。	・ 来日外国人犯罪に対応するための通訳の実施 ・ 自動車ナンバー自動読取り装置の維持管理 ・ 広域、特殊事件捜査用資機材の整備	・ 捜査資機材を活用した捜査活動を行った結果、平成20年の刑法犯検挙率は42.1％（前年比1.4ポイント減）となった。今後、更なる治安水準を回復させるため、引き続き各種捜査資機材の効果的運用を図る必要がある。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
刑事企画課	警察法					減少	余地あり	余地あり	余地あり
組織犯罪対策事業	39,015	27,895	・ 暴力団、来日外国人、銃器・薬物事犯などの組織犯罪に効率的かつ効果的な捜査を行うとともに、暴力団追放活動を推進して、暴力団の壊滅を図り、安全で安心な県民生活の確保を目指す。	・ 来日外国人犯罪の組織実態解明と徹底検挙を図るための部外通訳人運用 ・ 暴力追放県民大会の開催 ・ 暴力追放県民センターの活動を支援	・ 発生する暴力団犯罪、来日外国人犯罪の早期検挙を推進した。 ・ 暴力団犯罪に対する県民の暴排意識の気運も高まり、民間運動体を基調とする暴排団体の必要性が依然として高い。 ・ 暴力団は、近年、伝統的な資金獲得活動や民事介入暴力、行政対象暴力に加え、その組織実態を隠ぺいしながら建設業、不動産業への進出を図るなどし、企業活動を仮装した一般社会での資金獲得活動を活性化させていることから、これら組織の壊滅に向けた徹底検挙が喫緊の課題である。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
組織犯罪対策課	警察法 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律					減少	余地あり	余地あり	余地あり
科学捜査力充実事業	108,300	106,358	・ 科学捜査資機材の整備、充実により鑑定業務や鑑識活動の効率化を図り、巧妙化・広域化・スピード化する犯罪に的確に対処し、犯人検挙、早期事件解決を目指す。	・ X線マイクロアナライザ、ガスクロマトグラフ質量分析計、指紋情報管理システムなど鑑定業務や現場鑑識活動を効率・効果的に行うことのできる最新鋭機器の整備と保守 ・ 各種鑑定及び鑑識活動に要する消耗品の購入 ・ 文献検索システムを活用した鑑定に必要な文献の入手に要する通信運搬費	・ 鑑定機器の整備と有効活用によって犯罪を確実に立証するなど成果が認められる。 ・ 今後も、巧妙化・広域化する犯罪を確実に検挙・立証していくために、必要機器の更なる充実整備を図る必要がある。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
科学捜査研究所	警察法 刑事訴訟法					減少	余地あり	余地あり	余地あり

事務事業名	最終予算額 （千円）	決算額 （千円）	事 業 の 概 要		事業の成果と課題	事 業 の 評 価			
	実施方法		事業の目的	事業内容		ニーズの変化	県の関与を見直す余地	有効性を高める余地	効率性を高める余地
担当課（室）	実施根拠								
生活安全対策事業	2,946	2,706	・視聴覚教材を活用した各種講習等により、地域住民の防犯意識の高揚と自主防犯行動の促進を図る。 ・地域住民の防犯意識の高揚と自主防犯活動を推進し、犯罪を抑止して、安全で住みよい地域社会の実現を図る。 ・地域ぐるみによる子どもの安全を確保する。 ・自治体等と連携・協働した安全・安心なまちづくりを推進する。 ・子どもが被害者となる犯罪の防止と子どもの安全を確保する。 ・スト - カ - 事案の被害者の安全を確保する。	・啓発用視聴覚教材等の広報資材の整備に対する負担金 ・全国地域安全運動、年末特別警戒、防犯ポスター - コンクール等の広報啓発活動に対する補助 ・子ども、女性、高齢者の犯罪被害防止活動 ・全新入学児童に配布する誘拐防止等の「犯罪下敷き」の作成 ・防犯活動に係る広報啓発、子ども緊急通報装置の維持管理 ・スト - カ - 事案の捜査及び、参考人旅費、行政処分等に伴う通信費	・刑法犯認知件数が減少し、効果があった。（19年21,422件、20年21,105件、前年比-1.5%） ・非行少年数が増加に転じ、対策を継続的に進める必要がある。（19年1,678人、20年1,740人、前年比+3.7%） ・地域における自主防犯ボランティア団体が多数結成され、自主活動が盛り上がりを見せている。（20年度末686団体、前年比＋9団体、+1.3%） ・青色防犯パトロール車両の導入が増加し、活動が拡大している。（20年度末119団体、624台、前年度比 団体+6.3%、台数+3.7%） ・届け出を呼びかける広報啓発活動により、20年中、子ども対象犯罪224件、声かけ事案207件を認知した。 ・スト - カ - 事件捜査として、20年中、スト - カ - 規制法違反検挙3件、その他法令検挙13件、警告27件を行った。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
		負担金・補助・直接			横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし	
生活安全企画課	警察法 スト - カ - 行為等の規制等に関する法律				減少	余地あり	余地あり	余地あり	
生活環境犯罪対策事業	9,658	8,811	・廃棄物事犯対策 廃棄物の不法投棄事犯等、環境犯罪に対する取締りを強化し、地球環境を保全する。 ・サイバー犯罪対策 情報通信技術の急速な発達に伴い、増加しているインターネット等を悪用した犯罪等に的確に対応し、良好な市民生活・社会の安全と平穏を確保する。	・大量な廃棄物不法投棄事犯等、環境犯罪の徹底検挙 ・捜査員の安全確保（感染予防等）のための各種防護用品の整備 ・情報技術を利用した犯罪等の解明・取締りに必要な技術習得と資機材の整備	・46トンに及ぶ大量の産業廃棄物の不法投棄事案に的確に対応するなど、成果が認められた。 ・防護用マスク等防護用品の整備と有効活用により、捜査員の病原菌等の感染を抑止した。 ・電磁的記録の的確な証拠化や消去されたデータの解析などにより各種事件を解明するなど、成果が認められた。今後、サイバー犯罪の高度化・多様化・増加に的確に対応するため、より多くの捜査員に技術等を習得させることが必要であり、ハイテク犯罪捜査官の育成が急務である。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
		直接			横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし	
生活環境課	廃棄物処理法				減少	余地あり	余地あり	余地あり	
交通指導取締経費	60,799	59,720	・道路における危険を防止し、その他交通の安全と円滑を図る。	・交通事故事件捜査及び交通指導取締りに必要な資機材の整備及び維持管理 ・交通事故事件捜査及び交通指導取締りに必要な諸用紙の印刷	・交通事故事件捜査や交通指導取締りを適正かつ迅速に実施した結果、平成20年中の交通事故死者数が118人（前年比 - 3人、 - 2.5%）となった。 ・今後も引き続き適正な取締り等を推進し、交通の安全と円滑を図る。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
		補助				横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
交通指導課	警察法 道路交通法				減少	余地あり	余地あり	余地あり	
生活道路事故防止対策事業	9,212	9,212	・交通事故発生に占める割合が高い生活道路において、道路管理者と協働の上、交差点での優先関係を明確化するなど死亡事故の抑制に努める。	・事故多発交差点における自発光標識の設置	・県内死亡事故の減少に貢献している。 ・視認性の高い標識であるため、効果が高く利用者の評判も良かったため、交通事故抑制に向けて更なる設置を推進する必要がある。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
		直接				横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
交通規制課	道路交通法 道路標識令				減少	余地あり	余地あり	余地あり	

事務事業名	最終予算額 （千円）	決算額 （千円）	事 業 の 概 要		事業の成果と課題	事 業 の 評 価			
	実施方法		事業の目的	事業内容		ニーズの変化	県の関与を見直す余地	有効性を高める余地	効率性を高める余地
担当課（室）	実施根拠								
交通安全施設維持 管理経費	578,796	569,586	・交通安全施設を適正に維持管理することにより、その効果を最大限に発揮させ、県民の生命・身体・財産を交通の危険から守るとともに、交通の円滑化を図る。	・交通管制センター、交通信号機等の維持管理 ・交通安全施設の保守、修繕等	・交通安全施設が適正に維持管理されており、安全かつ円滑な交通環境が実現されている。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接、委託					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
交通規制課	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律					減少	余地あり	余地あり	余地あり
駐車対策等推進事業	250,130	242,653	・県民に対し、安全で円滑な交通環境を確保するために、道路管理と駐車対策を講じ、交通の円滑化を阻害する要因を排除する。	・自動車保管場所現地調査 ・自動車保管場所標章交付事務 ・道路使用許可確認事務 ・パーキングチケット発給設備の管理運用に要する費用	・道路利用者等の安全確保と道路の円滑化に寄与した。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接、委託					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
交通規制課	道路交通法 自動車の保管場所等に関する法律					減少	余地あり	余地あり	余地あり
ワンストップサービス関連経費	5,499	5,499	・自動車を所有する際に必要な保管場所証明、登録・検査、各種租税の納付等の手続きを1回で完了し、利用者の利便を図る。	・ワンストップサービス負担金	・各都道府県の負担割合に応じて適正に執行した。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	負担金					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
交通規制課	自動車の保管場所等に関する法律					減少	余地あり	余地あり	余地あり